



NPO 法人京阪総合カウンセリング 事務局だより

2026 年 7 月

2026 年度の総会のご報告

会員の皆様、今年も総会にご協力ご参加いただき、活動報告や活動計画についてご理解・ご支持をいただき本当にありがとうございました。

当法人の活動も 4 半世紀（25 年間）継続してまいりました。当初、「家庭の心理学セミナー」、「カウンセラー育成講座」の 2 事業を 36 人の会員によりスタートして、現在 8 事業を約 200 人の会員の皆様と活動する法人へと発展してきました。NPO 法人としても大阪府でも屈指の団体となり、知名度も大きく飛躍してきたと思います。



そのような喜ばしい発展ではありますが、一方ではその責任も大きくなってきたことも実感させられています。カウンセリングにおいても、講座においても、色々な事業において責任が大きくなっていることから『より良いものを提供し続けていく』為にはどのように運営していくことが大切か自問自答しながら向かい合っていかなければならないと思われています。

そして、何より会員の皆様のご支援あつての活動であることに『感謝』の気持ちを持ち続けていきたいと肝に命じているところでもあります。

臨床心理学を学んで『完璧は無い』ということも事実であり、自分なりに一生懸命でありたい気持ちで、今後も皆様と共に歩みを進めていきます。

どうか、宜しくお願いいたします。

今年度は7月から「会員様への傾聴ボランティア活動」を実践していきます。傾聴する方も、される方も共に心の成熟に向けた取り組みとなるように改善検討を重ねながら少しずつ歩みを進めてまいります。その先に傾聴を必要とされる一般市民に向けた活動へと発展させて行きたいと思っております。また、その他にも講演・講座事業を各地域に向けて展開していきたいと思っております。

この枚方、寝屋川、交野を中心に一人でも精神疾患や自殺者を減らしていくように、社会資源としての機能を果たしてまいりたいと思っております。



今年は総会講演で平野裕子先生に「老年期を生きる～最終クライシスこそ自己実現に生きる道」と題して話をいただきました。私と平野先生は同じ歳ですが、いつも、平野先生の意欲的取り組みと活動には敬服するものがあり、私も何とかついていきたい思いですが「クライシスこそ自己実現に生きる道」ということを、何かあるたびに思い起こしながら『分を全うしたい』と心に言い聞かせているところです。

2026年もNPO法人京阪総合カウンセリングにとって、しっかり歩いてきた年となるように取り組んでいきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

会員の皆様！

共に自分らしい歩みを進めてまいりましょう！

宜しく、お願い申し上げます。

理事長 原川 正慶

